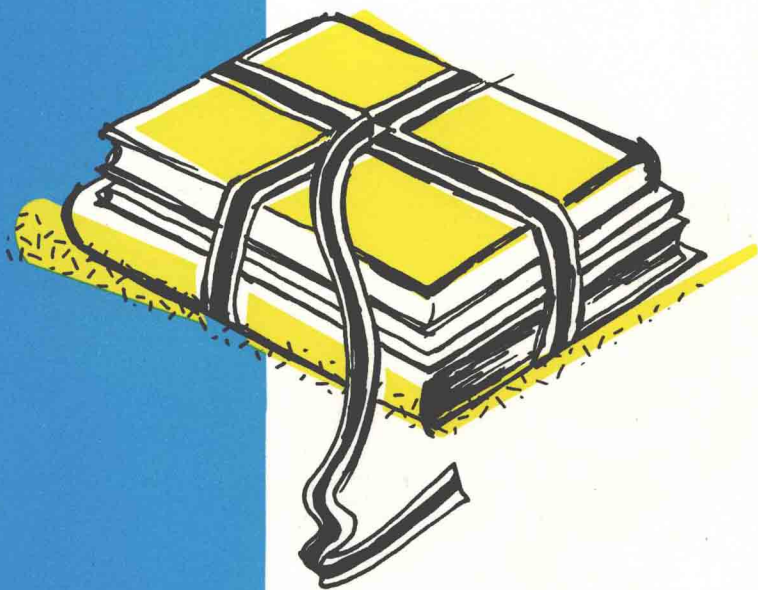


Modern Japanese into Modern English

自然な日本語から
自然な英語へ

長谷川 潔 編著
Christopher Tate



SEIBIDO

MODERN JAPANESE INTO MODERN ENGLISH

＜自然な日本語から自然な英語へ＞

[Teacher's Manual]

内 容 見 本

SEIBIDO

1990

本書には録音テープがあります。

カセット 全2巻 定価 5,000円 (送料 360円)

MODERN JAPANESE INTO
MODERN ENGLISH

＜自然な日本語から自然な英語へ＞

1990年1月10日 初版印刷 1990年1月20日 初版発行

編著者 長谷川 潔
Christopher Tate

発行者 佐野 義光

発 行 所
株式 成 美 堂
会社

〒101 東京都千代田区神田小川町 3-22

TEL. 03 (291) 2261

FAX. 03 (293) 5490

振替東京 4-35856

(落丁・乱丁本はお取替え致します)
(東洋経済印刷株式会社 印刷・秀美堂 製本)

ISBN 4-7919-5028-3

は し が き

日本語にも英語にもいわゆる名文といわれる文章があります。何を基準として名文とするかについては、いろいろな考え方があるでしょう。私自身は、易しい言葉で自然に表現をしている文章が名文だと思っています。たとえば、サイデステッカーや、ドナルド・キーンが日本文学を英訳したものを讀むと、「うまい」とうならされることがあります。じつにわかりやすい英語で日本語の文章を表現しているからです。

それでは易しい自然な英語で表現するとはどういうことなのでしょう。それは、結局は、自分の言いたい内容をよくかみくだいて言うことだと思います。つまり「和文和訳」を上手にやることなのです。ということは私たちの母国語である日本語をよく理解していることにつながります。

ごく普通の文を日本語で書く時でも思い直してみると、日本語らしい自然な日本語、たとえば「私は両親と同居しています」とか「所用で二日ほど…」といった表現や、「黒山の人だかり」とか「笑⁽²⁾みがこぼれる」などは、自然な英語にはちょっと訳しにくいことに気がつきます。このような日本語独特の慣用表現を、どのようにかみくだいて英語にするかが、自然な英語らしい英語で書けるようになるか、ならないかの分かれ目だと思うのです。

英語が書けない、難しいという場合、実はこの「和文和訳」という翻訳作業がうまくいくかどうかがかギになっていることがほとんどです。英語でうまく書き表せないというときは、どんな日本語の文章でもそれをそのまま英語で直訳しようとするから、易しい自然な英語が出てこないとも言えるのです。

それで、本書の第Ⅰ章では、日本語を易しい自然な英語で表現するための7つのポイントを述べておきました。日本語の考えを英語で表現したいとき、この7つのポイントを土台にすれば、自分の言いたいことを相手にある程度伝えることができるようになるはずです。

II章からあとの章では、まず最初に、英語で文を書くために必要な構文や文型を示しました。

次に内容の面から、簡単な受け答えや紹介・日常のあいさつなどをはじめ、教室で実際に使える表現から政治・経済のテーマにいたるまで、多くのトピックに関連する用例を取りあげました。文法や構文に関する文例と、トピック別の文例を交互に組み合わせることによって、できるだけ応用範囲の広い作文力を、すべての学生にマスターしてもらうのが本書のねらいです。

“Practice makes perfect.”ということわざがあります。英語で文を書くコツをつかむもっともよい方法は、実際に自分自身でできるだけ多く書いてみることです。本書では、そのコツを系統的につかみとることができるように内容を配分してあります。最後までやり抜いて、英文を書くコツをぜひ身につけて下さい。

1989年11月3日 文化の日

著 者

CONTENTS

I. 自然な英語を書くために……………	1
II. 簡単な受け答えと紹介の表現……………	6
——名詞の複数形について——	
III. 感謝・わび—教室などで使う表現……………	12
——誤りやすい冠詞——	
IV. 感覚—健康・病気などの表現……………	18
——誤りやすい形容詞——	
V. 考え・選択—天候・季節に関する表現……………	23
——前置詞をつけたくなる動詞——	
VI. ～したいこと—衣服・ファッションに関する表現……………	29
——日・英語の時制の違い——	
VII. 計画・意志—食事について述べる表現……………	35
——日・英語の態の違い——	
VIII. 提案・勧誘—交通・旅行に関する表現……………	39
——日・英語の話法——	
IX. 依頼—学生生活・勉強などに関する表現……………	44
——日・英語の動詞の意味の範囲——	
X. 興味・関心・スポーツ・趣味に関する表現……………	50
——動詞＋前置詞〔副詞〕——	
XI. 助言・忠告—住まいに関する表現……………	56
——注意すべき副詞の用法——	
XII. 命令・禁止—災害・事故などを示す表現……………	61
——誤りやすい接続詞の用法——	

XIII. 許可—読書・音楽などに関する表現	67
——関係副詞と関係代名詞の用法——	
XIV. 原因・理由—人物・性格などの表現	73
——名詞——	
XV. 目的—郵便・電話・電報などに関する表現	79
——名詞と冠詞——	
XVI. 結果・程度—時刻・曜日などの表現	85
——数詞＋複数名詞——	
XVII. 比較・比例—動植物に関する表現	90
——形容詞の意味の範囲——	
XVIII. 否定・譲歩—日本と外国に関する表現	96
——動詞の意味範囲——	
XIX. 様態・制限—文化・芸術・科学に関する表現	102
——助動詞の用法——	
XX. 仮定—政治・経済に関する表現	108
——前置詞・副詞の用法——	
XXI. 応用編—随筆文・自叙伝の訳し方	113

I. 自然な英語を書くために

この章で学ぶこと

1. 自然な日本語を自然な英語で書き表すための7つのポイント。
 - (1) 日本語にこだわっていると自然な英語は書けない。
 - (2) 省略する——英語も体も肥満は大敵。
 - (3) プラスする——足りないところを補って英語らしい英語に訳す。
 - (4) 原文を日本語に易しく考え直して表現しよう。
 - (5) 原文の内容をくみ取って簡潔な英語に訳そう。
 - (6) 言葉を置き換えて言い直す。
 - (7) 複雑な構文を避けて易しく表現する。
2. 日本語と英語—あいさつの決まり文句（練習問題）

A. 日本語を分析して自然な英語で表現しよう。

私のところは三世代同居です。→私の家では祖父母と親と子が一緒に住んでいます。

Three generations of my family are living together. → I live with my grandfather, (my) grandmother, and (my) parents (as well as my brother and sister).

B. 無駄を省いてわかりやすく書こう。

だれか人にやらせてもよいことを、自分でやらなければ気がすまないのが彼女の性分です。 → 何でも自分ですべてやらなければ気がすまない（満足できない）人（女性）です。

Her nature is such that she is not satisfied unless she does

everything by herself. → She is not satisfied unless she does everything by herself.

C. 足りないところは補って英語らしい英語に訳す。

1. お蔭さまで、大学の入学試験に合格しました。

Thanks to *your help*, I could pass the college entrance examination.

2. 横浜は日本第二の都市です。→ 横浜は日本第二の大きな都市です。

Yokohama is the second city in Japan. → Yokohama is the second *largest* city in Japan.

D. 原文を日本文に易しく考え直して表現しよう。

大学を出ると猫も杓子^{しやくし}も大企業に行きたがります。→ 大学を出るとほとんどの人が大企業の仕事を探す。

Most university graduates want to *find jobs* in major firms. → *Most* college graduates *want to work for* big companies.

☞ Most の代わりに Almost every college graduate でもよい。猫も杓子もは「だれも彼も」の意味であるが All または Everybody にすると「すべての人が」の意味になるので強すぎる。動詞は want となる。

E. 原文の内容をくみ取って簡潔に英語に訳そう。

今までに、こんないい映画は見たことがない。→ 今まで見た映画ではこれが最高だ。

I have never seen such a good movie as this before. → This is the *best* movie I have ever seen.

F. 言葉を置き換えて言い直そう。

この道を5分も歩けば駅に着きますよ。

If you walk along this road, you will get to the station *in five minutes*. → *Five minutes' walk* along this road will take you to

the station.

G. 複雑な構文を避けて易しく表現する.

ついこのあいだ、かねてから行こう行こうといつも思っていた父のふるさとを訪ねました。

Quite recently I realized one of my long-standing desires when I visited my father's old home. → Recently I went to my father's old home. I was very happy, because I had always wanted to go there.

以上が、英語を易しく表現するための七つのポイントです。英語で何か表現したいとき、この七つのポイントを応用し、自分の言いたいことを相手に伝えてみてください。

Exercises

[A]

テープを聞いて空所に適当な語を入れなさい。

1. _____, Ken. This is _____ surprise.
How _____ to _____ you, Lisa.
2. Well, well, _____ it _____ Emi! It's _____
_____ isn't it?
Hello, I'm so _____ to _____ you, George.
3. Hello, Takeshi. I'm truly happy to _____ you again, after
such a _____.
The _____ is mine. You know, you _____ changed
_____ since I saw you _____.

[B]

英語に訳しなさい。

1. 日本は人口過密社会です。
2. うち共働きです。
3. 鈴木さんはマイホーム主義者だ。
4. 昨日は、どうもたいへんお手数をお掛けしました。
5. 時計の具合が悪いので修理しなければならない。
6. ラジオのボリュームを下げなさい。
7. 彼は口先だけだ。
8. 平気な顔をしていればいいよ。
9. 君には頭の切り替えが必要だ。
10. あいつはどうも口が軽くて、なんでもすぐ漏らしてしまう。

[C]

相手の会話文に合う会話表現を書きなさい。

1. Student (Ken):

Mrs. Higgins: Good morning, Ken. How are you?

Ken:

Mrs. Higgins: Fine, thank you.

2. Emi: Hello, Takeshi.

Takeshi:

Emi: Everything is OK with me. How are you getting along with your studies?

Takeshi:

3. Lisa: Goodbye, George. Be seeing you.

George:

4. Ken: Goodbye for now. I'll see you soon.

Emi:

Ken: The same to you.

[D]

英語に訳しなさい。

1. 歴史の上から言っても、地理の上から言っても、我が国と中国との間柄がいかに親しく近いものであるかは言うまでもない。その中国のことが、不思議にも今日の日本では忘れられている。

～の上から言っても speak (say) from a(n) ~ point of view
中国のこと the state of affairs in China

2. 外国人にとってまず印象深いのは、日本人が日常生活に見せるものすごいエネルギーである。少なくともそれが、私の東京での印象であった。

～にとってまず印象深い(こと) the first thing that impresses ~
ものすごいエネルギー a tremendous amount of energy

II. 簡単な受け答えと紹介の表現

《名詞の複数形について》

この章で学ぶこと

1. 簡単な受け答え。
否定疑問文と付加疑問文。
2. 紹介の表現。
言葉の使用域——くだけた表現と丁寧な表現。
3. 誤りやすい名詞の数。
 - (1) 不可算名詞—複数形のない名詞。
 - (2) 関係・交換を示す名詞の複数。
 - (3) 常に複数形の名詞。
4. 英語で相手にいろいろな質問をする。(練習問題(B))

A. 簡単な受け答え。

1. Do you like apples?
——Yes, very much.
2. Don't you like fish?
——Yes, I do.
——No, not very much. / not really.
3. Do you speak English?
——Yes, but only a little.
——Yes, I do.
4. Your father is an engineer, isn't he?
——Yes, he is.
——No, actually he's an office worker.
5. Could you please help me carry my bags?

—Certainly. I'd be happy to.

B. 紹介のしかた.

1. Mr. A, this is Miss B.
2. Miss B, let me introduce Mr. A to you.
3. Ken, I want you to meet my younger sister Emi.
4. How do you do, Emi?
Glad to meet you, Ken. I've heard so much about you.
5. Dad, meet my girl friend Lisa.
6. Ladies and gentlemen, I am very happy to introduce Mr. Brown to you.

C. 名詞の使い方.

- (a) Uncountable Nouns—数えられない名詞.
1. We bought some *furniture* for our new house.
 2. All the *baggage* was put in the car.
 3. I could not get any *information* on this matter.
- (b) 関係・交換を示す複数形.
1. I'm *friends* with her.
 2. This building changed *hands* twice within a year.
 3. I changed *trains* at Tokyo Station.
 4. We took *turns* to nurse the old woman.
- (c) 常に複数形で用いられる名詞.
1. He wears *glasses*.
 2. He tucked his *trousers* into his socks.
 3. We heard Professor Johnson's lecture on *economics*.

Exercises

[A]

テープを聞いて空所に適当な語を入れなさい。

- May I _____ your _____?
—Yes, _____.
- He was a _____, _____ he?
No, he wasn't. He was a _____.
- Whose _____ is _____?
It's (That's) my _____.
- Whose _____ are _____?
_____ photographs are _____.
- Junko, this is _____.
I'm very _____ to meet you.
I've been _____ to meet you for _____.
- Ladies and gentlemen, may I have your _____?
It gives me _____ to introduce to you our _____ of
_____, Dr. John Danker.

[B]

英語に訳しなさい。

- 東京にお住みなんですね。
—ええ、そうです。
—いいえ、横浜なんですよ。

2. 鈴木さんをご存じですね。
——ええ、よく知ってますよ。
——あいにく知らないんです。
3. いま、手があいていますか。
——いや、手が離せないんです。
——ええ、空いてますよ。
4. 彼女はどんなことにも口出しする。
5. いまでもその日暮らしの人がいる。
6. 私たちは握手をして別れた。
7. 食事中に音を立てるのは無作法です。
8. 紙くずを歩道に捨てるのは行儀が悪い。
9. 工場の機械はすべて調子よく動いた。
10. おじは私にいろいろと親切にしてくれた。

[C]

FIND SOMEONE WHO

The purpose of this exercise has two parts: first to get to know your classmates a little better and to learn their names, and second to

practice using various question forms in English.

INSTRUCTIONS: Go around the class and ask the others the questions listed below. If you find someone who can answer “yes” to one of the questions on this list, write his or her name next to the question. Try to find someone who can answer “yes”. Be sure that you ask the questions in English, not in Japanese.

Find someone who

1. has been to Okinawa.
2. has three brothers.
3. has a cat.
4. hates *natto*.
5. is from Kyushu.
6. can eat three bowls of rice at dinner.
7. can ski very well.
8. was born in the month of July.
9. rides a motorcycle.
10. has been overseas.
11. usually goes to bed before eleven.
12. has been to Hokkaido.
13. likes Chinese food better than Japanese food.
14. can play the piano.
15. doesn't like television very much.
16. does not like the Yomiuri Giants.
17. loves to cook.
18. wants to go to the moon.
19. lives in Shinjuku Ward.
20. has AB blood type.